

報道関係各位
プレスリリース

2017年6月5日発信

池波正太郎と「鬼平犯科帳」の魅力 ～鬼平犯科帳誕生 50 年～

『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の人気シリーズほか、時代小説、食や人生の味わい深いエッセイ、戯曲、絵画など数多くの作品を残した作家・池波正太郎。代表作の『鬼平犯科帳』は、発表されてから今年で50年となりますが、今もなお老若男女を問わず幅広い世代の人々の心を捉えています。

本講座では、池波の私的なアシスタントを務め身近に接していた鶴松氏が、池波の作家としての特長と人となりを紹介し、また、ドラマ、劇画、さらにアニメとなって裾野を広げる『鬼平犯科帳』を検証し、その魅力に迫ります。江戸のあちこちを描いた池波、千代田区を舞台とした作品、その現在についても探求します。

講師 鶴松 房治（池波正太郎記念文庫、池波正太郎真田太平記館・指導員）

昭和22年生まれ。明治大学文学部・演劇学専攻卒業後、劇団新国劇に入団。制作部在籍中に池波正太郎作品の演出助手等を務める。退団後は舞台制作の仕事と並行して、池波正太郎の私的なアシスタントを生前15年間行う。没後は、資料の整理や作品の管理にあたる一方で、池波正太郎記念文庫（東京都台東区）、池波正太郎真田太平記館（長野県上田市）の設立準備を進める。開館後は両館の指導員を勤め、また池波作品に関する講座の講師として、各地で作品紹介等を行っている。



開催概要

- 日時：2017年7月21日（金）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉 千代田区立図書館 広報室

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341